



応援事業

「清流の国ぎふ」文化祭2024



第23回飛騨河合音楽コンクール

第1位グランプリ受賞記念

小松さくら ピアノリサイタル

2024.11.2 Sat.



【古川公演】

飛騨市文化交流センター 小ホール
開演 11:00 (開場10:30)

【神岡公演】

船津座 多目的ホール
開演 15:30 (開場15:00)



東京フィルハーモニー交響楽団
ゲストコンサートマスター

川田知子



東京音楽大学准教授
ピアニスト

松本和将



東京フィルハーモニー交響楽団
首席チェリスト

金木博幸

プログラム

シューマン

幻想曲 ハ長調 op.17

シューベルト

幻想曲 ヘ短調 D.940 op.103

ブラームス

ヴァイオリンソナタ第2番 イ長調 op.100

メンデルスゾーン

ピアノ三重奏曲第1番 ニ短調 op.49より

第2楽章

チケット (2公演共通) / 全席自由 1,000円 ※未就学児入場不可

10月4日(金)午前9時より販売・取り置き予約開始

チケット取扱い / 飛騨市文化交流センター 船津座 高山市民文化会館

取り置き予約は二次元コードにて承ります。

お問い合わせ / 飛騨音楽の里 ☎ 0577-65-2221 ✉ hidakawai.music@gmail.com

主催 / 飛騨音楽の里 後援 / 飛騨市 飛騨市教育委員会 協力 / 株式会社飛騨ゆい



チケット予約
こちら

出演者紹介

小松さくら ピアノリサイタル



小松 さくら ピアノ

愛知県立明和高等学校音楽科を経て名古屋音楽大学ピアノ演奏家コース3年次在学中。
 第71回全日本学生音楽コンクール中学校の部・第73回高校の部名古屋大会第2位全国大会入選。
 第6回国際青少年ピアニストコンペティションファイナルTEENAGER Aグループ第2位。
 第7回刈谷国際音楽コンクールピアノ部門高校生の部最優秀賞・刈谷市議会議長賞。
 第3回ラフマニノフ国際ピアノコンクールJAPANF部門第4位ラフマニノフ賞。
 第11回クオリア音楽コンクール高校生部門第1位。
 第56回カワイピアノコンクールソロ部門Sコース全国大会金賞。第23回飛騨河合音楽コンクール第1位。
 第25回ショパン国際ピアノコンクールIN ASIA大学生部門アジア大会金賞・ソリスト賞・IPMカトヴィツェ賞。2024年度山田貞夫音楽財団奨学生。深谷直仁、清水皇樹、野原みどり、松本和将の各氏に師事。



川田 知子 ヴァイオリン

東京藝術大学音楽学部器楽科を首席で卒業。
 1991年第5回シュボア国際コンクール優勝。NHK交響楽団や、モスクワフィルハーモニー交響楽団など、国内外のオーケストラにソリストとして起用され、好評を博している。また、アンサンブルなど室内楽の分野にも力を入れ、チェンバロの中野振一郎氏とのデュオも好評を博している。2003年度、第33回エクソンモービル音楽賞、洋楽部門奨励賞受賞。平成15年度国際交流基金日本文化紹介派遣事業でのトルコ、エジプトでのリサイタルを行い、2007年には、ハンガリーのブダペストでのリサイタルが絶賛された。2019年、J.Sバッハ無伴奏作品全曲演奏会を開催、大成功を収めた。
 マイスター・ミュージックより12枚のCDが発売されている。洗足学園音楽大学講師、東京藝術大学非常勤講師。



松本 和将 ピアノ

日本音楽コンクール優勝、全賞を受賞。ブゾーニ国際ピアノコンクール第4位、エリザベート王妃国際音楽コンクール第5位入賞。
 多くのオーケストラと共演。2016年より「松本和将の世界音楽遺産」と名付けたリサイタルシリーズを毎年開催、YouTube・オンラインサロン・Xなどで演奏動画や解説などをアップし話題となっている。
 これまでに24枚のCDをリリース。東京音楽大学准教授、名古屋音大ピアノ演奏家コース客員准教授として、後進の指導にもあたっている。



金木 博幸 チェロ

札幌市出身、1978年桐朋学園高校音楽科卒業。同年、日本音楽コンクール第2位入賞。翌年、東京国際音楽コンクール第1位入賞。斎藤秀雄賞受賞。上原与四郎氏、青木十良氏に師事。'81年に渡独。'84年北西ドイツ音楽大学首席卒業。'88年シュトゥットガルト国際チェロコンクール最高位。イタリア国境に近いスイス南部ルガーノ放送響メンバーとしての活躍の他、ウィーン・ブダペスト・ルガーノ等各地でリサイタルを行い、オーケストラとも共演した。'91年に帰国し、東京フィルハーモニー交響楽団首席チェリストに就任。オーケストラプレイヤーとしての活動を加えて、ソリスト、室内楽奏者としても多彩な活動を展開し、各地で高い評価を得ている。

～飛騨河合音楽コンクールについて～

飛騨河合音楽コンクールは「飛騨市を舞台とした若手芸術家・音楽家の育成」を目的とした音楽コンクールです。その歴史は合併前の河合村時代まで遡り、初回から数えて今年度で24回目の開催となりました。

コンクールでは全国から集まった若手音楽家のみなさんが熱演を披露します。審査員は飛騨市にゆかりのあるオーケストラ奏者を中心に、各分野で国内屈指のプレーヤーの方々が務めます。

コンクール本選で最高位を受賞した方には、副賞として飛騨市内で開催する「受賞記念リサイタル」への主演権が授与されます。このリサイタルは若い音楽家のさらなる活躍を応援するものであると同時に、地域に住む方々が気軽にクラシック音楽に触れられる機会としても重要な演奏会です。

この音楽コンクールとリサイタルという両輪によって、飛騨から世界に羽ばたく若手音楽家を応援しています。

